

(様式第4号)

神科・豊殿地域協議会 会議概要

1	審議会名	第2回 神科・豊殿地域協議会
2	日時	令和2年9月29日(火) 午前・ 後 7時00分から午前・ 後 8時30分まで
3	会場	豊殿地域自治センター(農村環境改善センター) 多目的ホール
4	委員出席者	青木茂友委員、浅川玲子委員、大久保孝子委員、近藤隆英委員、篠田正行委員、菅沼久美子委員、杉崎千代委員、高野亜矢子委員、竹内親吾委員、谷口昌平委員、中村幸博委員、橋詰和政委員、堀田芳子委員、堀善三郎委員、柳澤明德委員、柳澤正敏委員、柳澤幹夫委員、吉池正敏委員、渡邊久子委員、渡辺洋美委員 20人
5	市側出席者	羽毛田センター長、馬場地域振興政策幹、木角係長
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和2年10月6日 作成部局課名 上田地域自治センター(豊殿地域自治センター)

協議事項等

- 開会(羽毛田センター長)
 - あいさつ(羽毛田センター長)
 - 協議事項
 - 調査研究のテーマについて
 - 「調査研究のテーマ」について、各委員さんに事前に御意見を記入いただき、テーマを7項目にとりまとめた資料を事務局から説明。
 - 以下、調査研究のテーマについて意見交換
- (事務局) 皆さんからいただいた全てのテーマを第8期で取り組むことは時間的に余裕がないと感じている。委員さん全員で情報共有したいので、テーマはひとつにしたらどうか。そこで、「災害・防災について」をテーマとして提案させていただきたい。また、第五中学校建設について、多数の方に御意見いただいているが、こちらについては神科・豊殿地区の自治会連合会と地域協議会の代表者も含めた建設協議会が発足し、来月から具体的な協議が始まる。ついては、この地域協議会においては直接のテーマという取組ではなく、定期的に関係課から進捗状況の説明を受け、それに対し意見交換をしていく場を設けていこうと考えている。
- (会長) 「災害・防災について」は、神科・豊殿地域の住民自治組織に部会が立ち上げられていて、若干重複が生ずると思うが、昨年の19号台風を鑑みて力を入れて進めていきたいという意見もある。皆さまの御意見をお聞きしたい。
- (委員) 豊殿地域の消防団が減少しているのが現状。自主防災組織の強化を図ってください。という話である。これからは自助・共助・公助の形で防災力を高めていく観点から良いテーマかと思う。
- (副会長) やはりこれからは各自治会だけで消防団を運営していくことは難しい。現状で対応できるとすれば、現在の消防団の形を少し広げて、例えば近隣の自治会3自治会でひとつの消防団として運営していくのはどうかという案も出ている。
- (委員) 防災に関しては、それぞれの自治連等重複する点が多い。神科・豊殿地域協議会では、その地域個別の課題、例えば市民の森の利用促進、若しくは豊殿地域で自主運営している循環バスの利用者が減少傾向にあるため、現状の問題点の分析や新しい方向性の検討等、各自治連等で手掛けていない全く新しいテーマにしてもよいと思う。
- (委員) 豊殿まちづくり協議会で循環バスの部会がある。そちらで新しい方向性について検討している。

(会長) 循環バスの関係については、豊殿まちづくり協議会にお任せしたいと思う。では、事務局から提案いただいた防災については、想定をはるかに超えた昨年の19号台風で皆さんが危機感を感じている。神科・豊殿地域各自治連等で重複されますが、安心安全のために是非テーマとして研究していきたいが、いかがなものか。

(委員) 神科まちづくり委員会の防災部会でこれから色々なことを協議していく段階なので、神科・豊殿地域協議会のテーマとして取り上げることは重複しても構わない。

(委員) 災害のテーマで協議することに賛成である。各自治会においても自治防災組織や要支援者の住民マップ等手探りでやっているが、そのなかでも様々な問題を抱えているので、各自治会がより良く実際に具体的に行動できるように研究していきたい。

(委員) 神科・豊殿地域は安全な地域だと思っていた。しかし、昨年の台風で農村環境改善センターに避難しても人員制限、寒さ・トイレの問題、今はコロナ対策の問題等多々あると感じている。形だけではなく、実際に災害に遭った際に誰もが落ち着いて行動できればよいと思うので、災害のテーマは賛成である。

(委員) 災害に対する自らの意識を高めていく必要がある。昨年の台風の際に自分の近所同士で助け合いがなく、避難勧告も分からなかった方もいらっしゃる気がする。災害の原因である温暖化の問題や各自治会の防災組織も含めて協議したい。

(会長) 賛成意見多数かと思われるので、第8期の調査研究のテーマは「災害・防災について」協議することとしてよろしいか。

・異議なし

(事務局) 先ほど申し上げたが、五中建設については、関係課から進捗状況等の説明、また質疑応答の対応も同時にとりながら進めていく。他のテーマについても統一テーマの協議時間を割いて別の切り口として織り交ぜていく。テーマについては「災害・防災について」でご了承いただきたいので、次回からの取り掛かりとして、市の危機管理室から昨年の台風の状況・問題点等を聴くことから始めたい。そのなかで防災の問題点を考慮していきたい。また、皆さんからもやってみたいこと等御意見いただけると進めやすい。

(会長) 菅平ダムの貯水量等視察に行つて勉強したい。また、昨年の台風での各所避難状況についても知りたい。

(委員) 昨年の台風で農村環境改善センターへ避難したが、駐車場が足りない等感じた。また、昨年と異なり、今はコロナの影響で三密にならない避難の仕方、また、各自治会の対応・状況も知りたい。

(委員) 昨年の台風で上田市の消防団はどのような指令を出してどのような活動を地域へ依頼したか。また民生委員がどのような対応をしたのか各地域の状況を参考にお聞きしたい。

(委員) 19号台風の実態を地域のみならず上田全体の状況が知りたい。

(委員) 消防団は人数が減少していて全てを守りきることが出来ない状況であるため、自主防災隊を作って、防災力を高めていただきたい。また、豊殿・殿城地域は防災無線がないため、神川の放流の連絡も直前ではなく前もって連絡してもらわないと間に合わない。

(委員) 防災についてのテーマは細かい議題がたくさんあるので、協議事項をきちんと決めて調査をしないと結局まとまらない会議になってしまう。そのため、協議事項を明確にする必要がある。

(事務局) 調査研究については、「災害・防災について」をテーマとして皆で検討していきます。

(2) その他

・特になし

4 その他

(1) 次回の会議日程

日時：10月29日（木）午後7：00から

5 閉会（青木副会長）

